

がん患者さんとスタッフを支える 緩和ケア支援チーム

東邦大学医療センター 大森病院

“がん”になったときに、身体と心の苦痛をやわらげる
「緩和ケア」という医療技術がある。
患者さんをご家族が穏やかな時間を過ごす手助けをする
「緩和ケア支援チーム」の活動を知るべく、
東邦大学医療センター大森病院を訪ねた。



がん患者さんとご家族を支える「緩和ケア」

下条 奈巳さん

がん性疼痛看護認定看護師
16年目ナース

馬越 雅理さん

がん性疼痛看護認定看護師
10年目ナース

患者さんへの緩和ケアと
医師や看護師への支援を行う

緩和ケア支援チームは主に、がんを患う患者さんを担当する看護師や医師からの依頼を受けて、身体的な痛みや精神的苦痛などの症状緩和を行う。チームは専従職である副センター長の大津医師と、がん性疼痛看護認定看護師の下条さんと馬越さんを中心に、専門看護師や精神科医、薬剤師、栄養士、臨床心理士などで構成される。その活動は、週1回のカンファレンスと毎日の回診である。カンファレンスでは認定看護師が病状経過や食事の様子、薬の使用状況などをまとめたサマリー（概要）をもとに各専門職からの意見を出し合い、ケアの方向性を決定している。チームで活動するメリットについては下条さんは「多職種専門スタッフがいることで、患者さんの様々な苦痛への対応が同時進行できると、それぞれが病棟のスタッフと連携することにより、スムーズに提案事項が実施されます」と説明する。チーム名が表すように、スタッフへの「支援」も活動の一環だ。「日々の看護をするのは、あくまでも病棟の担当看護師。患者さんの苦痛に気づき、ケアできるようにサポートする

のが私たちの役割です」と下条さん。

緩和ケアの大切さやチームの活動の意味を知らせたい

昨年からはチーム専従となった馬越さんは、「緩和ケアのイメージをよいものにしたい」と願っている。

「施す手だてがなく、死期が迫った患者さんが受けるもの」というイメージが強く、依頼時期が遅くなりがちなんです。早い段階からケアを受けられれば、苦痛を早く緩和できます。会話がままならず、食事が摂れない状況に陥つてからでは、私たちができることも少なくなりますから」

チームが望むのは、「患者さんやご家族が望む最期を迎えられること」であり、馬越さんは「患者さんが穏やかに毎日を過ごせるように、できる限りのことをしていきたい」という。そして、患者さんの痛みが軽減し、穏やかな最期を迎えられた時、家族から「辛い最期で良かった」と言われた時に、この仕事をしていて良かったと感じる。だからこそ、「患者さんや家族はもちろん、医師や看護師にもチームの存在や活動を理解してもらえたら」と、下条さんとともに、緩和ケアに関するセミナーなども開催し、周知に務めている。

緩和ケア支援チームの活動

- 外来
- コンサルテーション（回診）
- 緩和ケアセンターカンファレンス
- 運営会議
- 緩和ケア支援系の運営
- セミナー開催



週1回のカンファレンス。各職種が専門性を活かして意見を出し合います。



回診では直接、患者さんと対話し、気持ちをくみ取り、ケアに活かします。

ウェブ「看護師のまど」では、馬越さんの認定看護師を目指したきっかけや、副センター長と薬剤師さんの対談、病棟ナースのお話しなど、「緩和ケア支援チーム」をもっと知れる記事が読めるよ！今すぐチェックしよう！



副センター長
大津 秀一さん
(総合診療急病センター・緩和医療医)

ホスピスに勤めた経験を生かし、患者さんの希望に添った緩和ケアを行っています。その際に大切なのは、「看護力」。経験豊富な認定看護師は患者さんにも、チームにも、担当看護師にも心強い味方です。



精神科医師
富間 実名雄さん

患者さんの実在的な悩みを受け止め、気持ちに添った対応を行います。必要があれば薬物療法も施します。認定看護師の2人は、患者さんの生活背景までも細かに報告してくれ、満足いくケアのためには不可欠な存在です。



薬剤師
松本 高広さん
(緩和医療薬学会緩和薬物療法認定薬剤師)

疼痛緩和で使う薬の副作用や相互作用、適正作用を考えて、患者さんに合う薬を提供しています。認定看護師はチームの要。患者さんに関する情報をチームで共有するために日々、情報収集をしてくれています。

病棟ナース



患者さんの
情報



がん性疼痛看護認定看護師

サマリー
専門知識



臨床心理士
小田原 幸さん

精神的な負担を感じている患者さんとお話して、ケアの方向性を認定看護師と相談して決めていきます。回診前に認定看護師がまとめたカルテから、患者さんの病状変化を知ることができるので、助かります。

Hospital Data

〒143-8540
東京都大田区大森西 5-21-16
TEL ☎0120-702-882
【担当 / 看護企画室】
MAIL kankihonbu@jim.toho-u.ac.jp
URL http://nurse.toho-u.ac.jp/



Hospital Information

東邦大学医療センター
【インターンシップ】
日曜・祝日・第3土曜日を除く毎日
【病院見学】
大森病院：月～金 13:30～16:00
大橋病院：月～金 10:00～12:00
佐倉病院：月～土 10:00～12:00



がん看護専門看護師
祖父江 由紀子さん

専門とする放射線治療の見地からケアに携わっています。リンパ浮腫の患者さんへの緩和ケアにも取り組んでいます。認定看護師がチーム全体をコントロールしてくれるので、よりよいケアが実現します。



栄養士
神山 薫さん
(管理栄養士)

患者さんが「食べてみよう」「おいしかった」と感じられるように直接話して、栄養面からケアをしています。患者さんの状態を細かく記録したカルテから、認定看護師の仕事への意識の高さがうかがえます。